

～日本語を母語としない子と親のための～

高校進学ガイダンス in ながの 2008開催

高校進学ガイダンスの開催は、平成20年度で5回目を迎えました。開催地のボランティアの皆さん方と緩やかな実行委員会を構成してきたことで、事前準備や当日の流れもおおむね確立し、支えて下さる多くの方々の温かい協力で本年度も開催することができました。

今年度は、11月9日飯田市からスタートし、毎週日曜日に松本市・長野市・上田市と4会場で計4回開催しました。

県高校教育課による説明、質疑応答、現役高校生による体験発表、言語別グループに分かれての話し合いなど3時間にわたり行なわれました。どの会場でも、質問、意見がとても多く、対象児童生徒・家族の進学への希望、受験への意欲の大きさが伝わってきました。

しかし、一方で当事者の参加人数が少ない点や、学校の先生たちの関心が今ひとつという点など検討する課題が多いのが現状です。

これらをふまえ効果的な広報の仕方、開催地等の検討・改善をし、多くの生徒に高校進学の道が開け、希望が持てる会にしたいと思っています。

目 次

進学ガイダンス	①
長野県多文化共生係からのお知らせ	③
長野県国際課からのお知らせ	④
JICAからのお知らせ	⑤
情報マップ	⑥

【開催の経緯】 長野県内では外国籍生徒たちの高校進学が徐々に増加してきています。

県内の高校入試には、日本語を母語としない外国籍生徒や中国帰国者（残留邦人）に配慮した「入試特別配慮（詳細は県高校教育課にお問い合わせください）」があり、高校進学の可能性が拡大しています。しかし、当事者の外国籍生徒は自分が該当するかどうか分からない場合が多く見られ、本人・保護者・学校関係者も含め、説明会の必要性が強く感じられたことから、ANPIEでは平成16年より「高校進学ガイダンス」を行っています。

県内の交通事情・地理的条件などから、1箇所の開催では参加する側に無理がある為、開催当初より通学区ごとに4箇所の開催としています。ANPIEが企画・調整役を務め、主体となる団体は地元の日本語教室や支援団体など外国籍住民に関わる団体を中心として、緩やかな実行委員会形式を取っています。

またこのガイダンスは、開催当初から県の教育委員会との共催という方式や、開催市教育委員会の共催・後援ということで協力を得ていますが、全国的にも例を見ない行政が関わった「高校進学ガイダンス」が実現しています。

【20年度の実施状況】

		参加者
11月 9(日)	飯田会場 飯田市公民館	32名
11月16(日)	松本会場 松本市市民活動サポートセンター	40名
11月23(日)	長野会場 もんぜんプラ座	36名
11月30(日)	上田会場 上田市ふれあい福祉センター	61名

当日の流れ

説明用資料はポルトガル語・中国語・タガログ語・タイ・韓国語・スペイン語・英語言語で用意
※通訳がついて説明しました

- 13:00 開会・挨拶
- 13:10 高校について、入試について
(資料に沿って説明) 県高校教育課
- 14:10 先輩の話
現在高校に通っている外国籍生徒の
体験談
- 14:30 休憩
- 14:50 言語別に分かれての質疑
- 15:30 言語別グループで出た質問・疑問、
意見、感想などを参加者で共有する
- 16:00 閉会



説明の様子松本会場

【特別配慮の概要】

中国残留邦人の三世までの志願者と長野県内に住む外国人の志願者について、特別な配慮を受けることができます。

特別配慮を受けることができる条件

- 中国残留邦人の三世までのうち、帰国後6年以内の人。
- 長野県に住む外国人のうち、入国後の在日期間3年以内の人。
- 条件の満たす志願者に対して、募集定員の枠外で選抜します。

※特別配慮に関する詳細は、必ず「県教育委員会事務局高校教育課」に問い合わせをしてください。

長野県教育委員会事務局高校教育課

T e l . 0 2 6 - 2 3 5 - 7 4 2 8

長野県人権男女共同参画課多文化共生係からのお知らせ

地域共生コミュニケーター&コミュニケーション・アシスタントを募集します。

★地域共生コミュニケーター

行政と外国籍県民の方のパイプ役として、行政からの情報を伝えたり、行政に対する意見や要望を県などに伝えたりして、地域に暮らすみなさんの相互理解を進めるため、ボランティアで活躍していただく「地域共生コミュニケーター」を募集します。

- ・ 応募要件
 - (1)原則として県内に在住、在勤または在学している方。国籍は問いません。
 - (2)日常生活に支障がない程度に外国語を話す能力のある方
 - (3)日本語を母国語としない方は、日本語の日常会話とひらがなとカタカナの読み書きができる方
 - (4)地域共生コミュニケーターの趣旨を理解し、その活動に積極的に取り組む意欲をお持ちの方
- ・ 委嘱期間：平成20年4月1日から平成22年3月31日まで（2年間）
- ・ 報酬等：ボランティアなので報酬はありません。

★コミュニケーション・アシスタント（通訳）

日本語を十分話せない外国籍県民の方であっても、県の各種相談機関等において、円滑に相談などの行政サービスが受けられるようにするため、外国籍県民の方の各種母国語について、「コミュニケーション・アシスタント（通訳）」を募集します。

- ・ 応募要件
 - (1)原則として県内に在住、在勤または在学している方。国籍は問いません。
 - (2)日常生活に支障がない程度に外国語を話す能力のある方
 - (3)日本語を母国語としない方は少なくとも日本語の日常会話とひらがなとカタカナの読み書きができる方
- ・ 通訳料：1時間につき1,000円
- ・ 交通費：実費支給

★募集期間 随時

★応募方法 応募される方は、所定の応募用紙に必要事項を記入の上、郵送 FAX、Eメールのいずれかによりご応募ください。

★応募先 県庁企画部人権・男女共同参画課多文化共生係 TEL 026-235-7165

【郵送】 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692-2

【FAX】 026-235-7389 【Eメール】 jinken-danjo@pref.nagano.jp

★応募用紙は県ホームページ

<http://www.pref.nagano.jp/kikaku/danjo/tabunka/soudan/bosyu.htm>からダウンロードできます。

外国籍児童就学支援会議（サンタプロジェクト）募金報告

長野県信用金庫協会様から多額のご寄付をいただきました。

長野県信用金庫協会様から外国籍児童就学支援会議（サンタプロジェクト）に50万円のご寄付をいただきました。

平成20年12月2日に県信金協会副会長を務める原・同信金理事長から外国籍児童支援会議の池田会長に寄付金が贈呈されました。昨年同様、協会加盟の6つの信用金庫（長野信用金庫様、松本信用金庫様、上田信用金庫様、諏訪信用金庫様、飯田信用金庫様、アルプス中央信用金庫様）の役職員の皆様と株式会社しんきんカード様、及びに長野県信用金庫協会の職員の皆様にご協力をいただき、昨年と同額のご寄付をいただきました。今年の寄付で、信用金庫協会様からの多額の寄付は6年連続となりました。

サンタプロジェクトの趣旨をご理解いただき、ご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

（写真は、長野県信用金庫協会本店において、原県信金理事長から寄付を受け取る池田会長（右）



長野県と中国河北省の友好提携事業

河北大学長野県研修員派遣事業

長野県では、中国語や中国の諸事情に精通した人材を育成するため、友好提携先である中国河北省の河北大学に、毎年3名の研修員を派遣しています。

OH20年度は、3人の女性が河北大学国際交流教育学院で研修しています



河北大学

○主な研修内容

- ・中国語の学習
- ・中国の政治、経済、社会等の諸事情に係る視察
- ・河北大学生の日本語学習の支援、指導

両事業とも来年度は
H21年4月から
募集を開始します！

長野県・河北省青少年交流事業

長野県と中国河北省との青少年が相互に訪問し、ホームステイや学校交流を通じて、お互いの文化や習慣に対する理解を深め、友情を養い、将来の国際化を担う人材を育成しています。



交流会後の記念撮影の様子



学校交流の様子

○お問い合わせ先 長野県観光部国際課
〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2
TEL 026-235-7188 FAX 026-232-1644
<http://www.pref.nagano.jp/kanko/kokusai/kashokai.htm>



じゃいかの窓から

「現職参加制度」を利用して JICA ボランティアになりませんか？

～現在のお仕事を辞めずに参加できる制度です～

「100年に一度の世界同時不況」とも言われる昨今。一緒に世界が幸せになることを目指す私たちには、同時に起きて欲しいものが違う！と、悲しい気持ちにもなります。そうした不安な状況から、海外ボランティアに参加したくても、帰国後の生活や仕事の不安が大きいと、その1歩が踏み出せないのも当然です。

そこで、JICA ボランティアには、「現職参加制度」というものがあります。もちろん、勤務先に「ご理解」と「制度」があることが前提ですが、国家公務員や地方公務員、一部の民間会社にお勤めの皆さんには、お勤め先に籍を置いたまま参加できる制度があります。特に教員の方は、復職時に支障が無い様、訓練期間も含め2年間の参加となります。（4月から派遣前訓練を行い、2年後の3月末に帰国し、4月には職場復帰となります。実質の任国派遣期間は約1年9ヶ月となります。）今までにも多くの方が、この制度を利用し、帰国後その経験を学校や会社、広くは社会へ活かして活躍されています。

「退職せずに海外ボランティア！」と一緒に目指しませんか。



<information>

「信州国際塾 訓練所見学バスツアー（日帰り）」を開催します！

日 程：平成21年1月31日（土）長野駅東口発着（上田市・松本市からも乗車可能）

目的地：JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所（駒ヶ根市赤穂15番地）

参加費：500円（往復交通費、昼食代、イベント保険代込）

内 容：施設見学や、語学授業体験、異文化理解講座、「地球のステージ」鑑賞 他

対象者：学生（中学生以上）と、その保護者、教員

※現地集合でも可。奮ってご参加ください。

お申し込み・お問い合わせは、以下の連絡先まで。

♪JICAのこと、国際協力のこと・・・気軽にご連絡ください♪

連絡先：（財）長野県国際交流推進協会（長野県庁東庁舎1階）内

JICAデスク（担当：小林）

電話：026-235-7186（代） F A X：026-235-4738

メール：jicadpd-desk-naganoken@jica.go.jp

JICA ホームページ URL：<http://www.jica.go.jp/>

■県内で開催される講座・イベント・外国籍住民向けなどの案内です

内 容	日 時	場 所	備 考
<p>■DV防止講演会 問い合わせ： 長野県社会部こども・家庭福祉課 TEL：026-235-7099 FAX：026-235-7390 締め切り：1月30日（金）</p>	<p>2月6日（金） 午後1時30分～午後3時30分 （開場12時30分）</p>	<p>長野県県民文化 会館小ホール</p>	<p>「民間シェルターにおける外国人DV被害者の支援の現状と課題」 講師：坂間治子氏 （日本キリスト教夫人婦風会 女性の家HELPソーシャルワーカー） ※入場無料</p>
<p>■国際理解講演会 問い合わせ： 上田市市民課 TEL：0268-22-4100 （内線1308、1356）</p>	<p>2月8日（日） 午後2時～4時</p>	<p>上田市市民会館 2階大会議室</p>	<p>「ブラジルの現況と日系ブラジル人就労者」 講師：二宮正人氏 （サンパウロ大学法学部博士教授、日伯雇用サービスセンター理事長） ※入場無料</p>
<p>■2009アジアの新春をたすねて ～多文化共生フェスティバル～ 問い合わせ： 安曇野市国際交流協会事務局 中村 TEL：090-3585-1539</p>	<p>2月15日（日） 午前11時～</p>	<p>安曇野市豊科 ふれあいホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大交流会：歌って踊って楽しいステージあり ・展示、試食：アジア各国料理ブース、各種活動展示 ・体験コーナー：着付け、もちつき、習字など <p>※参加無料</p>
<p>■外国人 HIV 陽性者療養支援セミナー 問い合わせ： 長野県衛生部健康づくり支援課感染症難病係 TEL：026-235-7148 FAX：026-235-7170 E-mail: kenko@pref.nagano.jp 締め切り：2月10日（火）</p>	<p>2月19日（木） 午後1時30～午後5時</p>	<p>ホテル信濃路</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「在日外国人 HIV 陽性者療養支援モデルについて」 ・「長野県における HIV 感染者/エイズ患者の状況」 ・「出身国の医療事情及び在日外国人支援 NGO による HIV 陽性者支援」 <p>※参加料無料</p>

翻訳・通訳します

（財）長野県国際交流協会では、通訳・翻訳業務（有料）を行なっています。

翻訳：市町村・医療機関（県機関は除きます）、企業や個人様からの依頼を受け付けています。

各種証明書、国際交流・多文化共生にかかわる簡易な手紙、メッセージ、案内文などで高度な専門的な内容は除きます。

※権利、訴訟等利害関係に関わる書類の翻訳は受け付けられません。

通訳：国・市町村機関（県機関は除きます）、企業からの依頼を受け付けています。

※その他詳細についてはアンピ事務局までお問い合わせ下さい。

賛助会員を募集しています

当協会では県民の幅広い参加のもとに国際交流事業を進めていくため賛助会員制度を設けております。長野県の国際交流の進展、多文化の共生にむけて、賛助会員としての参画をお願いします。

【年会費】・法人または団体 1口 10,000円 ・個人 1口 3,000円

【特典】・アンピニュースの送付 ・アンピ主催講座の割引 ・協会事業への参加案内など

【申し込み・問い合わせ】アンピ Tel: 026-235-7186 FAX: 026-235-4738

E-mail: mail@anpie.or.jp